

専門学校における情報提供等への取組に関するガイドラインに基づく情報提供

1. 学校の概要目標及び計画

(1) 設置法人

法人名	学校法人 榎本学園		
代表者名	理事長 榎本 雄文		
所在地	東京都町田市中町 1-13-1		
連絡先	TEL 042-720-4826		
役員	理事長（常勤）	榎本 雄文	（町田製菓専門学校・ 町田福祉保育専門学校 学校長）
	理事（常勤）	松下 祐介	（町田調理師専門学校 学校長）
	理事（常勤）	中溝 京子	（町田美容専門学校 学校長）
	理事（非常勤）	岩本 勉	（学校法人理事長）
	理事（非常勤）	芳村 浩司	（会社員）
	理事（非常勤）	石井 篤司	（学校法人理事長）
	監事（非常勤）	吉田 光一	（大学教員）
	監事（非常勤）	池淵 元	（元高校教諭）

(2) 校長名、所在地、連絡先等

校長名	榎本 雄文
所在地	東京都町田市中町 2-10-21
連絡先	TEL 042-722-0313

(3) 教育理念・目的

榎本学園の「常に社会の動向に適合した職業人を育成する」という教育理念のもと、本校は学校教育法に基づき、深い人間愛と奉仕の精神を身につけた、介護福祉及び保育の分野に貢献できる人材を養成することを目的とする。

(4) 教育目標及び方針

- ① 優しいところづかいを実践に結び付ける。
- ② 魅力あふれる人間性をつちかう。
- ③ 個性を尊重し、可能性を伸ばす。
- ④ 社会のなかで生きる自覚を持つ。

(5) 学定員、入学者数、在学総数（2025 年 5 月 1 日現在）

	介護福祉学科（2 年制）	こども保育学科（3 年制）
入学定員	40	40（2025 年度生以降募集停止）
総定員	80	80（2.3 学年のみ）
在学総数	42	23

(6) 学園、学校の沿革

年月	出来事
昭和 18 年 4 月	榎本春子により自宅を開放、榎本洋裁として発足（当時の生徒数は 15 名であった。戦時下の洋裁教室のため、モンペ、国民服の裁断を教えていた。）
昭和 22 年 3 月	東京都の公認校として町田洋裁女学院（後・町田家政福祉高等専修学校）開校
昭和 28 年 3 月	校名を町田洋裁女学院から町田高等技芸学校に改称
昭和 29 年 1 月	創立 10 周年記念式典
昭和 35 年 12 月	料理教室を新築 料理学校を開設
昭和 49 年 10 月	創立 30 周年記念式典
昭和 51 年 4 月	専修学校制度の創設により、校名を町田技芸高等専修学校に改称
昭和 53 年 7 月	学校法人認可
昭和 54 年 4 月	東海大学付属望星高等学校との技能連携はじまる
昭和 55 年 4 月	町田調理師専修学校（現・町田調理師専門学校）開校
昭和 60 年 4 月	町田調理師専門学校に改称
平成元年 4 月	町田福祉専門学校（現・町田福祉保育専門学校）開校
平成 5 年 3 月	町田調理師専門学校第 2 校舎落成
4 月	町田調理師専門学校／上級調理師科開設
平成 6 年 4 月	町田技芸高等専修学校／福祉科開設 校名を町田家政福祉高等専修学校に改称
平成 10 年 5 月	町田家政福祉高等専修学校・町田調理師専門学校新校舎落成
平成 13 年 4 月	町田福祉専門学校／児童福祉学科（現・こども保育学科）開設
平成 14 年 4 月	町田美容専門学校開校
平成 16 年 10 月	町田美容専門学校／美容学科通信課程開設
平成 18 年 4 月	町田製菓専門学校開校
平成 19 年 4 月	新理事長に榎本秀規就任
平成 22 年 4 月	町田福祉保育専門学校に改称
平成 23 年 3 月	町田家政福祉高等専修学校閉校
4 月	町田調理・製菓技術研修所開設
平成 26 年 4 月	町田製菓専門学校第 2 校舎落成
平成 30 年 4 月	町田福祉保育専門学校／保育学科開設
平成 30 年 6 月	新理事長に榎本雄文就任
令和 2 年 4 月	町田美容専門学校 高等課程開設

2. 各学科等の教育

(1) 授業科目等の概要

1) ①介護福祉学科

必修 の 別	授業科目			単 位	時間 数	履修年次		実務経験のある 教員による授業 (実務内容)
	領域	教育内容 (時間数)	開講科目名称			1 年	2 年	
必修	人間 と社会	人間の尊厳と自立 (30)	人間の理解	2	30		30	
		人間関係とコミュニケーション (60)	コミュニケーション論	2	30	30		
			人間関係とコミュニケーション	2	30		30	
		社会の理解 (60)	生活と福祉	2	30	30		
			社会保障制度	2	30		30	
		人間と社会に関する 選択科目 (90)	リハビリテーション	2	30		30	○ (医療機関・ 理学療法士)
			児童福祉論	2	30		30	○ (児童福祉施設 ・保育士)
			情報	1	30	30		
必修	介護	介護の基本 (180)	介護の基本Ⅰ	2	30	30		○ (介護福祉施 設・介護福祉 士)
			介護の基本Ⅱ	2	30	30		
			介護の基本Ⅲ	2	30	30		
			介護の基本Ⅳ	2	30	30		
			介護の基本Ⅴ	2	30		30	
			介護の基本Ⅵ	2	30		30	
		コミュニケーション 技術 (60)	コミュニケーション技術の基本	2	30	30		
			手話	1	60	60		
			点字	1	30	30		
			レクリエーション概論	1	30	30		
		生活支援技術 (300)	生活支援技術Ⅰ	3	90	90		○ (介護福祉施 設・介護福祉 士)
			生活支援技術Ⅱ	2	60	60		
			生活支援技術Ⅲ	1	30		30	
			障がい者への支援	2	30		30	
			住環境と福祉用具	1	30		30	
			栄養・調理	2	60	60		
			被服	1	30		30	
			介護予防とアクティビティ	1	30		30	
		介護過程 (150)	介護過程Ⅰ	1	30	30		○ (介護福祉施 設・介護福祉
			介護過程Ⅱ	1	30	30		
			介護過程Ⅲ	2	60		60	

			介護過程Ⅳ	1	30		30	士)
		介護総合演習 (120)	介護総合演習Ⅰ	1	30	30		○ (介護福祉施設・介護福祉士)
			介護総合演習Ⅱ	1	30	30		
			介護総合演習Ⅲ	1	30		30	
			介護総合演習Ⅳ	1	30		30	
		介護実習 (456)	基礎実習	10	120	120		
			施設実習Ⅰ		160	160		
			施設実習Ⅱ		160		160	
			居宅実習		16		16	
必	こころとからだのしくみ	発達と老化の理解 (60)	発達と老化の理解	2	30	30		
			高齢者と健康	2	30	30		
		認知症の理解 (60)	認知症の理解	2	30	30		
			認知症の支援	2	30		30	
		障害の理解 (60)	障がい者の理解 A	2	30		30	
			障がい者の理解 B	2	30		30	
		こころとからだのしくみ (120)	こころのしくみ	2	30	30		
			からだのしくみ	2	30	30		
			生活支援Ⅰ	2	30	30		
			生活支援Ⅱ	2	30	30		
必	医 療 的 ケア	医療的ケア (50)	医療的ケアⅠ	2	30	30		
			医療的ケアⅡ	1	8		8	
			医療的ケアⅢ	1	30		30	
			医療的ケアⅣ	1	12		12	
必	その他	レクリエーション活動援助法		1	30		30	
		卒業対策(国試対策)		2	60		60	
		計		93 単位	54 科目 2,126	28 科目 1,210	26 科目 916	21 科目 750 時間

2) こども保育学科

	別 必・選 の	単 位	授業総 時間数	授業時間数			実務経験のある 教員による授業
				1 年 次	2 年 次	3 年 次	
日本国憲法	必	2	30	30			
健康科学	必	1	30	30			
英会話Ⅰ	必	2	45	45			
情報処理入門Ⅰ	必	2	45	15		30	
生涯スポーツ	必	1	30	30			
教育原理	必	2	30	30			
教育心理学	必	1	15	15			
幼児の心理学	必	1	30	30			○
造形表現(指導法)	必	2	45	45			
健康(指導法)	必	1	15	15			
人間関係(指導法)	必	1	15	15			
音楽表現(指導法)	必	1	15	15			

環境（指導法）	必	1	15	15			
言葉（指導法）	必	1	15	15			
幼児と音楽表現	必	1	15	15			
音楽表現技術	必	1	15		15		
幼児と造形表現	必	1	15		15		
幼児と健康	必	1	15		15		
幼児と言葉	必	1	30	30			
幼児と人間関係	必	1	30	30			
幼児と環境	必	1	30	30			
社会福祉	必	2	30	30			
社会的養護Ⅰ	必	2	30	30			○
教育課程総論	必	2	30	30			
教育方法論	必	2	30	30			
教職概論	必	2	30	30			
教育実習事前事後指導	必	1	15	15			○
劇あそび（指導法）	必	1	15	15			
保育内容総論	必	1	15	15			
子どもの保健	必	2	30		30		○
子育て支援	必	1	15		15		○
子ども家庭福祉	必	2	30		30		○
保育原理	必	2	30		30		
子ども家庭支援論	必	2	30		30		○
保育の心理学	必	2	30		30		○
子ども家庭支援の心理学	必	2	30		30		○
教育相談	必	2	30		30		○
幼児への特別な支援	必	1	30		30		○
障害児保育	必	1	15		15		○
子どもの食と栄養	必	2	45		45		
社会的養護Ⅱ	必	1	15		15		○
言語表現	必	1	15		15		
教育実習	必	4	160		80	80	
保育・教職実践演習	必	2	45			45	○
保育実習事前事後指導Ⅰ（保育所）	必	1	15		15		○
保育実習Ⅰ（保育所）	必	2	80		80		
保育実習事前事後指導Ⅰ（施設）	必	1	15		15		○
幼児体育Ⅱ	必	1	30			30	
乳児保育Ⅰ	必	2	30			30	○
乳児保育Ⅱ	必	1	15			15	○
子どもの健康と安全	必	1	15			15	○
保育実習Ⅰ（施設）	必	2	80			80	
保育実習Ⅱ	必	2	80			80	
保育実習事前事後指導Ⅱ	必	1	15			15	
特別講義Ⅰ・Ⅱ	必	4	60	60			
音楽Ⅱ（リトミック）	必	1	30		30		
音楽Ⅲ（ピアノ・声楽・表現）	必	10	300	120	60	120	
国語	必	4	60	30		30	
教育実習指導	必	2	60	30	30		○
児童館実習指導	必	1	30		30		
保育実習指導	必	1	30		30		

施設実習指導	必	1	30			30	
児童館・放課後児童クラブの機能と運営	必	2	30	30			○
児童館・放課後児童クラブの活動内容と指導法Ⅰ	必	2	30		30		○
児童館実習	必	2	80		80		
レクリエーション活動援助法	必	2	60		60		
児童文化	必	1	30			30	
保育教材研究	必	2	30			30	
図画工作	必	1	30			30	
卒業対策	必	4	60			60	
卒業研究（ゼミナール）	必	2	60			60	
		122 単位	71 科目 2,655	31 科目 915	28 科目 930	18 科目 810	22 科目 585

(2) シラバス

下記のアドレスにて情報公開

<https://www.enomoto.ac.jp/valuation.html>

(3) 進級・卒業要件等（成績評価基準、卒業・修了の認定基準等）

【成績評価の基準】

成績は、SA(90点以上)、A(89~80点)、B(79~70点)、C(69~60点)以上、を合格とし、D(59点以下)を不合格とする。

【履修の認定】

- 履修する授業科目について一定の時間数の出席があつて、試験、レポート課題又は学習態度による成績評価に合格した場合に、当該授業科目の履修を認定する。
- 試験及びレポート課題については、試験細則・受験心得に定めるところによる。
- 校外実習については、当該実習指導者の評価報告（出席状況等を含む）を基に、総合して評価認定する。

【進級・卒業要件】

- 各学年毎に修了すべき授業科目について試験を行い、合格者に対して当該授業科目の修了を認定する。ただし実習については、実習の成績によって終了を認定する。
- 卒業認定については、本校所定の全課程を修了したと認められたとき及び納付金を完納している場合に卒業判定会議で審査の上認定する。

(4) 客観的な指標に基づく成績分布

成績評価を厳格に行いより教育効果を高めること、学生の学習意欲を触発し学習目標を明確化するため、GPSA（Grade Point Simple Average）を導入している。SA・A・B・C・Dの評価に対して、それぞれ4・3・2・1・0点のGrade Pointを与え、Grade Pointの総数を総科目数で割ることにより、平均点（Grade Point Simple Average）を算出する。

(6) 取得を目指す資格・検定等、及び実績 (2025 年 3 月卒業生 : 43 人)

資格・検定名	受験者数	合格者数
介護福祉士	26	26
保育士	17	17
幼稚園教諭二種免許	17	17
社会福祉主事任用資格	17	17
児童厚生 2 級指導員	17	17
レクリエーション・インストラクター	43	43

3. 教職員

(1) 学校法人榎本学園教職員数 (2025 年 5 月 1 日現在 : 185 人)

(2)	常勤教員・助手			非常勤 教員	常勤 職員
	校長	教員	助手		
法人事務局					7
町田調理師専門学校 専門課程	1	11	5	13	2
町田調理師専門学校 高等課程		9	2	16	1
町田福祉保育専門学校	1 *	9	0	41	1
町田美容専門学校 専門課程	1	10	0	12	2
町田美容専門学校 高等課程		8	0	11	
町田製菓専門学校	1 *	10	0	10	2
計	3	58	7	103	15

*兼務

4. キャリア教育・実践的職業教育

(1) キャリア教育への取組状況

- ・ 介護福祉士、保育士ともに資格要件として必須の実習が豊富にある中で、教科目あるいは独自の実習事前・事後指導を通して、現場の様子を学んでもらえるよう取組んでいる。
- ・ 出来るだけ職業現場の実態を学んでもらえるように、現場で活躍する方々に非常勤講師を依頼し、多彩な顔ぶれで授業を展開している。

(2) 実習・実技等の取組状況

- ・ 資格要件として必須の実習が豊富にあるが、さらに加えてゼミナールでは現場施設の見学、研究を行ったり、こども保育学科では独自の児童館実習も設置するなど、実習は積極的に取り入れている。
- ・ 技術は繰り返しの訓練で身体で覚えるという方針のもと、介護における生活支援技術、保育においてのピアノや図画工作など、実技科目は規定数以上に組み込んでいる。

(3) 就職支援等への取組支援

- ・ 就職指導部が中心となって 年間就職指導計画を作成。個別面談を進める一方で全体へのガイダンスや懇話会などのプログラムを進めている。

5. 様々な教育活動・教育環境

【学校行事】

		介護福祉学科		こども保育学科			保育学科	
		1 年	2 年	1 年	2 年	3 年	1 年	2 年
4 月	入学式・始業式 オリエンテーション・健康診断	○	○	○	○	○	○	○
5 月	保育(施設)実習					○		○
6 月	介護基礎実習 A・幼稚園実習 I	○			○			
7 月	保育(保育所)実習 II		○			○		○
8 月	夏季休暇	○	○	○	○	○	○	○
	介護施設実習 II・児童館実習		○		○			
9 月	前期試験	○	○	○	○	○	○	○
	幼稚園実習 II					○		
10 月	介護基礎実習 B・介護居宅実習	○	○					
	学校祭	○	○	○	○	○	○	○
11 月	保育(保育所)実習 I				○		○	
12 月	冬季休暇	○	○	○	○	○	○	○
1 月	介護福祉士国家試験		○					
2 月	後期試験	○	○	○	○	○	○	○
	介護施設実習 I	○						
3 月	卒業式		○			○		○
	春季休暇	○	○	○	○	○	○	○

【主な施設】

施設名	概要・特徴
介護実習室	ベッドを使用する実技。 6 畳和室あり
入浴実習室	入浴介助実技。介護用特殊浴槽設置
家政実習室	調理実習設備、器具設置
ピアノ室	ピアノ実技。電子ピアノ 22 台
パソコン室	パソコン授業等
〇 A 室	視聴覚授業、合同授業
講堂	全体集会及びリトミック・レクリエーション活動援助法等の授業

6. 学生の生活支援

(1) クラス担任制度

担任制によるクラス・授業を運営している。学生指導はクラス担任が中心となり、学生一人一人と向き合いながら、保護者とも連携して行うことを基本としている。就職は就職指導部と担任が連携して進路指導に取り組んでいる。退学率の低減も重点目標の一つである。

(2) 学生支援への取り組み状況

- 1) 進路・就職に関する支援体制について
 - ・ 就職指導部と担任が連携して進路指導を行っている。
就職指導年間計画を策定し、個人面談と並行してガイダンスや報告会、懇話会等を実施している。
- 2) 学生相談に対する体制について
 - ・ 相談内容に応じて各部の担当が加わり個別に対応している。
- 3) 学生に対する経済的な支援体制について
 - ・ 公的奨学金利用の支援
 - ・ 学費分納制度
- 4) 保護者との適切な連携について
 - ・ 必要に応じて保護者と連携を図る。とりわけ出席状況の芳しくない学生に関しては、頻繁に連絡を取るようになっている。
- 5) アルバイトの斡旋について
 - ・ 職業教育、経済的な観点からも就職指導部が斡旋を行う等、アルバイトに関しては積極的に推奨している。
- 6) アパートの斡旋について
 - ・ 提携不動産業者によりアパートを斡旋している。
- 7) 卒業生への支援体制について
 - ・ 卒業後も就職斡旋、転職相談に対応している。
 - ・ 卒業後の資格取得についても相談に応じている。

7. 学生納付金・修学支援

(1) 学生納付金

【介護福祉学科：円】

	合格後手続	1 年次前期分 入学前手続 (2 月)	1 年次後期分 (1 年次 8 月)	2 年次前期分 (1 年次 2 月)	2 年次後期分 (2 年次 8 月)
入学金	150,000				
授業料		380,000	380,000	380,000	380,000
実習費		90,000		90,000	
施設設備費		150,000		150,000	—
小 計	300,000	620,000	380,000	620,000	380,000
合 計	2,150,000				

教材費；174,300 円

【こども保育学科：円】

	合格後手続	1 年前期分 入学前手続 (2 月)	1 年前期分 (1 年次 8 月)	2 年前期分 (1 年次 2 月)	2 年後期分 (2 年次 8 月)	3 年前期分 (2 年次 2 月)	3 年後期分 (3 年次 8 月)
入学金	200,000						
授業料		350,000	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000
実習費		50,000		50,000		50,000	
施設設備費		150,000		150,000		150,000	
短大併修費		150,000	150,000	115,000	115,000	120,000	
小 計	200,000	700,000	500,000	665,000	465,000	670,000	350,000
合 計	3,550,000						

教材費；200,000 円

【修学支援】

1) 分割納入制度

入学前の納入金負担を軽減するため、毎月の分割納入制度を設けている。

【介護福祉学科：円】

	合格後手続	前期分 入学前手続 (2月)	4月	5月から毎月 引き落とし	回数
入学金	150,000		0	94,000	20
授業料等		120,000	0		
事務手数料		22,000	0		
合 計	150,000	142,000	0	1,880,000	
総 計	2,172,000				

教材費；174,300 円

【こども保育学科：円】

	合格後手続	1 年次前期分 入学前手続 (2 月)	4 月	5 月から毎月 引き落とし	回数
入学金	200, 000		0	100, 000	32
授業料等		80, 000	0		
短大併修費		150, 000	0		
事務手数料		35, 200	0		
合 計	200, 000	265, 200	0	3, 200, 000	
総 計	3, 585, 200				

教材費；200,000 円

注) 分割納入は金融機関の自動引落が要件となります。

8. 財務情報

下記のアドレスにて情報公開

<https://www.enomoto.ac.jp/valuation.html>

9. 学校評価（自己評価・学校関係者評価）

下記のアドレスにて情報公開

<https://www.enomoto.ac.jp/valuation.html>

10. 国際連携の状況

(1) 留学生の受入れ

- ・介護福祉学科において、在留資格「介護」の新設に併せて、2017年度より留学生の受入れを始めた。

留学生推移(人数)

2022	2023	2024	2025
5	2	7	9

- ・生徒指導担当教員を配置し、介護福祉士資格取得を目指した学業はもちろんのこと、日常生活指導に全教員一丸となって取り組んでいる。

以 上